

前回、いい人材を求めるには、自分にはないもの、苦手だなと感じる人ほど採用してみるのもいいかもしれません。と書きました。

では、そんな人が現れたら？

実際のところ、遠ざけてしまう。しまいには、なんやかんやと難癖をつけやめさせてしまう。

そんな暴挙にでようとするかもしれません（実際、いるのです）

はい。なぜ社長はそうしてしまうのか？

はっきりいいましょう。社長がその部下に嫉妬してしまうからなんです。

社長だけではないでしょう。人間、もってはいけないという感情こそ嫉妬だと思います。

そんなこと言われたって...と思いの方。じゃあ、どうすれば嫉妬しないですむのか？

一つは社長自身、勉強することです。「まだまだ、俺に及ばないな...」と感じる余裕。余裕がないから嫉妬するので。しょうもない、飲み会やゴルフに行く暇があれば勉強するのです。

それでも駄目なら、言ってやれ！「嫉妬してます。キー！」ってみんなの前で。

以前、管理者にこんな話しをしたことがあります。

「君が男であったら、君に嫉妬してたかもしれない...」って。

同性や同年代も嫉妬しやすい。ですが、会社を大きくしたい、長く続けていくなら嫉妬の地雷は踏んでもいいけません。まあ、嫉妬するのではなく、嫉妬される方になりたいですね。

そういえば、最近入った当社の柔道整復師さん。

利用者に大変人気でケアマネさんからも「今度、機能訓練の方法、教えてください」って。彼に教えているのは僕なのに...なーんて、思いません。

只只、うれしいのである！